

八ヶ岳西南麓に花開いた縄文文化

その中から、各館ごとにテーマを決めて展示するものです。

今回は縄文の「ど真ん中」にスポットを当てて、

各館独自の切り口で、縄文時代の生活に迫ります。

富士見町井戸尻考古館

縄文文化と縄文研究のど真ん中

およそ5500年前の縄文時代中期に、中部高地から西南関東にかけてひとつの文化が開きます。豊富な打製石器群と、彫塑的な造形の土器や具象的な土偶を有する、井戸尻文化です。その中心地である井戸尻遺跡や藤内遺跡といった井戸尻遺跡群は、造形豊かな土器文化の中核であったといえるでしょう。そして、その発掘調査や研究を担った当館は井戸尻編年「や」縄文農耕論」「土器図像論」といった成果を生み出し、縄文時代研究をリードする中心地のひとつもなりました。

縄文時代中期のど真ん中、井戸尻文化とそこから生まれた縄文時代研究の成果をご覧ください。



藤内遺跡 半人半蛙文有孔罎形土器(重要文化財)

八ヶ岳美術館(原村歴史民俗資料館)

中期、王道の縄文世界！

縄文時代のど真ん中(中期)、大繁栄した日本のど真ん中(中部高地)。昭和50年代以降、様々な開発事業に伴い多くの遺跡が発見され、発掘調査や研究が行われてきました。原村を通る、中央道・中央自動車道「もその一つ」ど真ん中だらけの企画展、八ヶ岳美術館(原村歴史民俗資料館)では「中央」自動車道の建設をきっかけに見えられた代表的な集落遺跡、また周辺の縄文中期集落を中心に紹介します。きっと見つかる「ど真ん中」の縄文土器に、ぜひ会いに来てください。



大石遺跡 人・蛇体装飾付深鉢形土器(長野県宝)

北杜市考古資料館

外へと向かう圧倒的な造形力

縄文土器の特徴の一つに、口縁部から突出する突起や把手が多いことが挙げられます。これは世界各地の先史時代の土器のなかでも非常に珍しく独自の土器文化といえます。

そのなかでも八ヶ岳西南麓を中心とした中部高地においては、遺跡の数が急増する縄文時代中期に、巨大な突起や複雑な把手を持つ極度に立体的な造形の土器が作られます。こうした土器は、縄文時代を代表する文物として、外国でも展示される大きな反響を呼んでいます。

北杜市考古資料館では、水煙文把手付土器や、大型塔状把手付土器などを集めて展示します。

縄文人たちの圧巻の造形力に触れるとともに、器から大きく飛び出た把手や突起から、外へ外へと向かうエネルギーギッシユな文化的高揚感を感じてみたいと思います。



高松遺跡 大型把手付土器



竹宇1遺跡 大型塔状把手付土器

交通アクセス



北杜市考古資料館

住所 〒409-1502 山梨県北杜市大泉町谷戸2414
電話 0551-20-5505
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 火曜日・水曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
観覧料 大人210円、小中学生100円
URL <https://hokuto-maibun.com>



富士見町井戸尻考古館

住所 〒399-0101 長野県諏訪郡富士見町境7053
電話 0266-64-2044
開館時間 9:00~17:00
休館日 月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日
観覧料 大人300円、小中学生150円
(諏訪6市町村の小中学生は身分証等の提示で無料)
URL <https://userweb.ales.or.jp/fujimi/idojiri.html>



八ヶ岳美術館(原村歴史民俗資料館)

住所 〒391-0115 長野県諏訪郡原村17217-1611
電話 0266-74-2701
開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 臨時休館を除き年中無休
※会期中臨時休館日:9/24(火)~9/27(金)
観覧料 大人510円、小中学生250円
(諏訪6市町村の小中学生は身分証等の提示で無料)
URL <https://yatsubi.com>

各館WEBサイト

